温室効果ガス排出削減計画

氏 (法人にあっては名称)					住	住 (法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 105-8521							
名 日本赤十字社 月						所	T 100-8521 東京都港区芝大門1-1-3						
	部署名	5: 日	本赤十字社區	岡山県支部	総務課	** 1							
主たる業	種コー	類ード	83 業種名:	医療業									
事業の 概 要													
	番号	番号 工場等の名称					所 在 地						
	1	① 岡山赤十字病院				岡山市北区青江2-1-1							
県内の	2	② 岡山赤十字病院玉野分院					玉野市築港5-16-25						
主な	3	③ 岡山県赤十字血液センター					岡山市	f北区V	ずみ	打3-3	36		
工場等	4	岡山県	₹赤十字血液	センター 津口	山供給出張	折	津山市	「高野本	×郷127	72-9			
	(5)	日本	赤十字社岡山	県支部			岡山市	方北区丸	しの内2	2-7-2	20		
	6	岡山川	 県赤十字血液	センター き	表町出張所		岡山市	5北区表	長町1-5	5-1			
特定事業	:者 🗸	①燃 米	斗等原油換算1,	500kl以上	②かえ・トラ	ック]	100台、	タクシー2	50台以	上[] ③CO ₂ 換	算3	,000t以上
の該当要	- 1-1	●工場	景等の数	6	所	• I	車両台	数(②	該当の	場合	`)		台)
計画期間	間	7	区成 27	年度	\sim		平成	31	年月	度	(5	箇年度)
削減目標		ずれか 選択	☑ 総排出量 □ 原単位基		目標肖 0.0		率 %	目標 区分	20%以上	20~15	15~10%	10~	~5% 5%未満
温室効果カ	i ス	基	<u></u> 集年度(平成		<u> </u>		,	目標年	度(平	成	31 年	度)	
排出量				9, 044	t CO ₂						9, ()44	t CO ₂
	番	番号 工場等の名称					基準年度(平成 26 年度)の排出量						
		l) 尚	山赤十字病障	元							6, 7	706	t CO ₂
基準年度		② 岡山赤十字病院玉野分院					1,338 t CO ₂						
主な工場		③ 岡山県赤十字血液センター									7	783	t CO ₂
の排出量		④ 岡山県赤十字血液センター 津山供給出張所					101 t CO ₂					t CO ₂	
	(⑤ 日本赤十字社岡山県支部					64 t CO ₂						
		⑥ 岡山県赤十字血液センター 表町出張所					52 t CO ₂						
※ 「計	画期間]」欄	には, 5 箇年	度以内で特別	定事業者が	定	める期	間を記	己入する	ó.			
(原単位基	温温	を					原単位当たり排出量						
の削減目標	を						<u> </u>						
選択した場 に記入)	合						CC)- / ()	CO- /	()
)2 / (/	CO ₂ /	()
(該当事業ベンチマー			其業の夕称	×11/2	チマーカ性	一種		思浦粉	:値(平	成 '	26 年月	在)	達成率(%)
	-	713(1)(1)				/示		因是数	. 但 (十	NX '	40 +b	又丿	建以平(测)
指標の状		1. ——	Ha 1 . / /) - !a - S	[.]									
			基本的な考え 『十字社岡山』		· 景	6年	三月 日 シェ	・岡山寺	十字点	記字17	経折み	アリ	病棟、平
十八八八〇十	4月(に	ロイツ	ハーナ江川川	マスロツ利包	上生、十八亿	1U+	-0月(に	川川川川	・一十が	当児に	- 収化リンフ ロ ヽ マ ' ロ ヽ マ ' ロ ヽ マ ' '	ノ 1 1. ー	777水、干

成27年5月に南館が相次いで竣工しており、温室効果ガスの排出量は大幅に増加する見込みである。しかしながら、最小限の増加に止めることを目標とし、平成27年度から31年度の目標削減率は0.0%と した。 公的機関として全ての事業所において、引き続き温室効果ガスの排出量の抑制に努める。

【目標削減率達成のための推進体制】

各事業所の総務課(岡山赤十字病院にあっては施設課)を目標削減率達成の担当課と定め、事業所での推進に努める。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
岡山赤十字病院	・病床アームライトのLED化。
	・新病棟の建築にあたり、スケジュール管理による照明制御、人感セ
	ンサーによる調光、COPの高い空調熱源、BEMSの導入、インバーター
	仕様のポンプ導入、断熱性能の強化等を採用した。
岡山県赤十字血液センター	・受付フロアの照明をLED化したほか、使用用途のなくなった倉庫を
	解体した。
日本赤十字社岡山県支部	・新社屋の建設にあたり積極的にLED照明を採用し、人感センサーや
	スケジュール制御、タスクアンビエント照明を採用した。

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
岡山赤十字病院	・BEMSの活用を継続する。
岡山県赤十字血液センター	・機器の更新にあたっては、温室効果ガスの削減をを前提とし、省エネルギー機器を採用する。
日本赤十字社岡山県支部	・ハイブリッド車両の使用を継続する。 ・節電の周知徹底に努める。

【杰林位	R全等吸収源対策への取組計画	ŦĨ Ì
	ト 土 寺 ツメメイメ゙ルボズ メヤビ `Vノ メメメハユロ Ľ	4 7

県内で の取組	無	
その他	無	

	·	~			·
-	再生可能で	ウ	71 4.	の資ス	⇒⊥.imi
		4	ルイー		= T IMI

県内で の取組	無	
その他	無	

12	の他特記事項	ī١
-	/ /1111 4 11 61 - 11 26	1 I